

概要版

岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～

平成28年～平成37年

第2次総社市総合計画

そうじゃ総合戦略



総社市

基本構想

目指す都市像

岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社 ～全国屈指の福祉文化先駆都市～

3つの基本理念

困っている仲間を支えよう!
子どもと仲間を増やそう!
仲間と力を合わせよう!

5つの基本目標



住み
働き

だれもが**学び**たくなる総社

訪れ
集い



なに?
総社 総合計画って

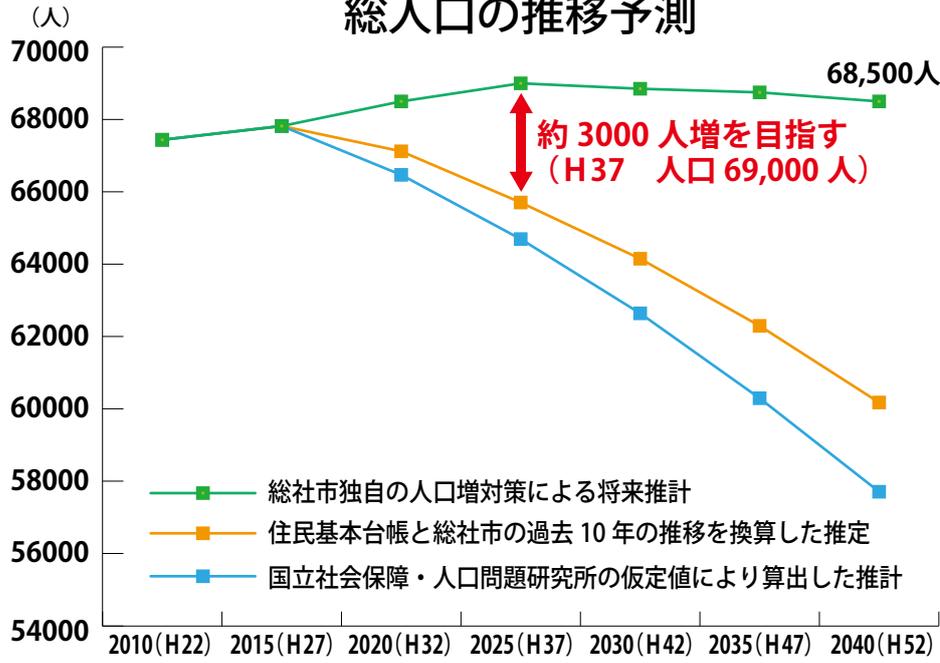


総合計画は、今後10年間の総社市をどのように創っていくのか、その方向性を描いたまちづくりの指針となるものです。

総社流施策で福祉文化を
全国トップレベルにして、
岡山・倉敷を“質”で超える
新しい総社を創る!!

人口ビジョン

総人口の推移予測



目指す人口展望

69,000人

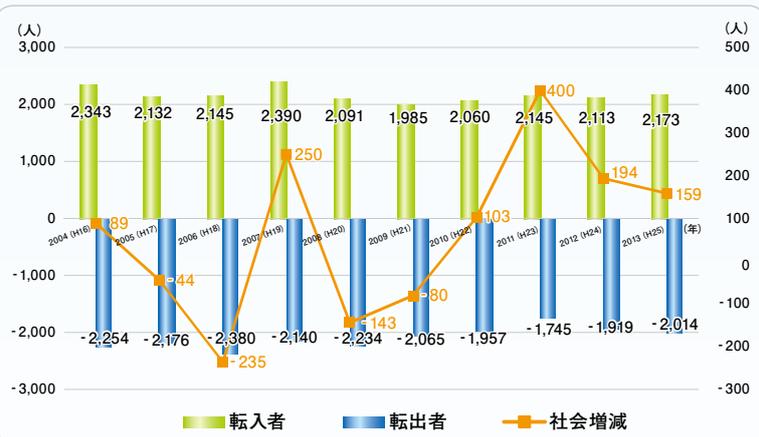


総社流の
施策で
人口増加を
目指す!

10年後に推移予測
される人口

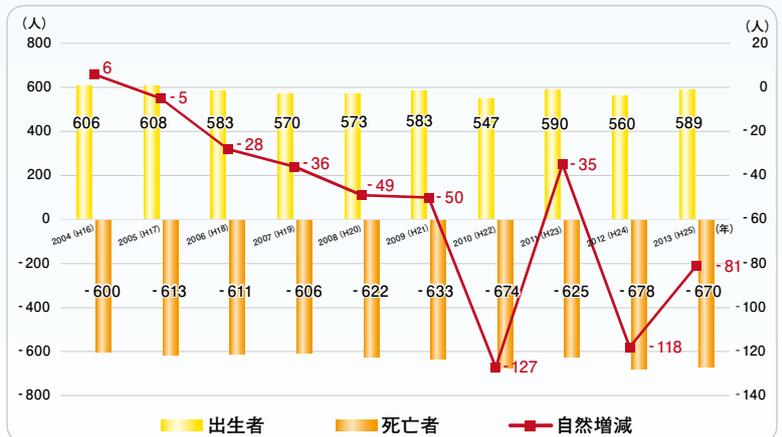
65,706人

総社市の社会動態推移



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数」

総社市の自然動態推移



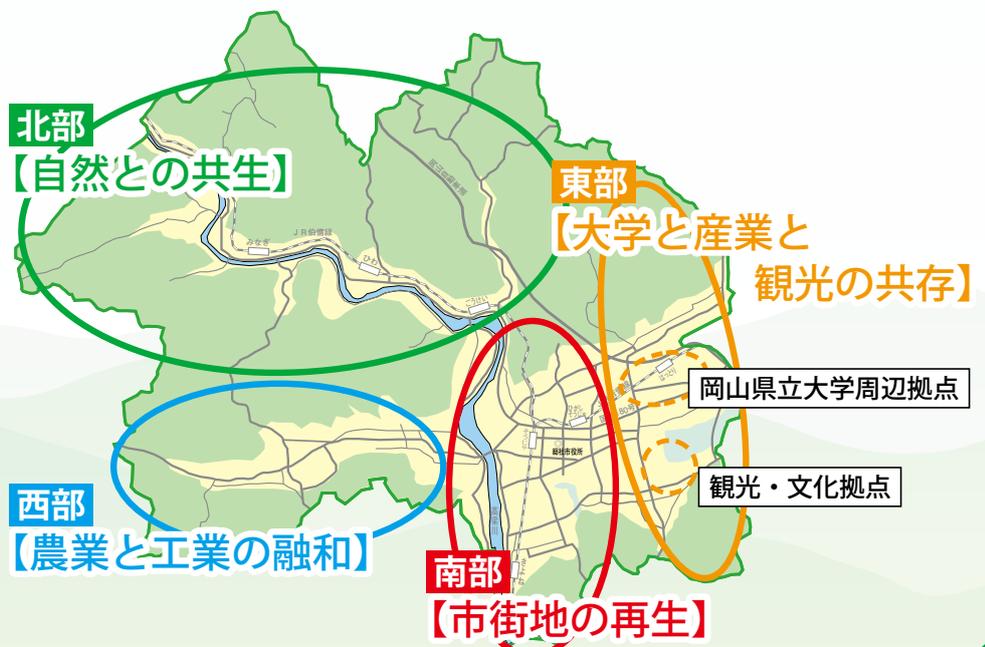
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口動態及び世帯数」

出生・死亡(自然増減)と転入・転出(社会増減)

総社市は、県内の多くの市町村が転出超過(社会減)に推移するなか、転入超過(社会増)により人口が増えています。

土地活用の基本方針

地域ごとの特色を
伸ばしましょう!!



※重点的な施策＝総合戦略

だれもが住みたくなる総社

基本目標

転入超過数：155人／年（直近5年間の平均）

➔ **年平均200人以上**（今後5年間の累計の平均）



重点的な施策

1 子育て 「子育て王国そうじゃ」をさらに深化する

- 待機児童を3年以内に“ゼロ”に
- 妊娠期から子育て期をワンストップで支援
- 支援が必要な子どもを応援



重要業績評価指標（KPI）

現況 ➔ H 32

■ 転入者数	2,173人	➔	2,400人
■ 出生数	564人	➔	646人
■ 待機児童数	50人	➔	0人
■ 子育てしやすいと感じている人の割合 （市民アンケート数値）	—	➔	80% <small>（平成30年度までに達成）</small>
■ 子宮頸がん検診（HPV検査）の受診者数	—	➔	350人

2 社会保障（高齢者・障がい者など） いつまでも総社で安心して暮らす

- 独居高齢者の孤立を防ぐ
- 高齢者のケア・見守りの強化
- 雪舟くんの利便性強化
- 切れ目のない介護と医療体制をつくる
- 障がい者の支援の充実
- 元気でいきいき！健康寿命を延ばす

重要業績評価指標（KPI）

現況 ➔ H 32

■ 雪舟くん1日平均乗車数	229人（H 26）	➔	250人
■ 認知症サポーターの数	2,538人	➔	6,000人
■ いきいき百歳体操の実参加者数	1,925人	➔	2,800人

3 住宅・生活基盤 総社に住み続けたいくなる

- 吉備線をもっと便利に
- 市街化区域の再活性化
- 夜間ピカピカ大作戦



重要業績評価指標（KPI）

現況 ➔ H 32

■ 宅地面積	1,475ha	➔	1,505ha
■ 統一されたデザインによる街路灯の設置	—	➔	80基

4 移住・定住促進 魅力ある総社に住んでもらう

- 結婚を応援
- 移住・定住を促進



重要業績評価指標（KPI）

現況 ➔ H 32

■ カップリングパーティー参加者のうち カップル成立数（累計）	11組	➔	70組
■ 結婚活動事業による成婚数（累計）	0件	➔	10件
■ 移住相談等の施策により移住した件数 （定住祝い金対象）（累計）	2件	➔	75件

5 防災・消防 総社を大震災時の支援拠点にする

- 東日本大震災から学び、災害に強いまちにする
- 大震災時の支援拠点となる



重要業績評価指標（KPI）

現況 ➔ H 32

■ 自主防災組織率の向上	50.1%	➔	70%
■ 防災訓練の実施	年2回	➔	年10回

目指す都市像である「岡山・倉敷に並ぶ新都心 総社～全国屈指の福祉文化先駆都市～」を実現するための計画です。
みんなで支えあい、考え、力を合わせて実行し、暮らしやすいまちをつくっていきましょう。

だれもが働きたくなる総社

基本
目標

総所得金額 805 億円／年
→ **840 億円／年** (H 32 年度)



重点的な施策

1 雇用 総社で「働きたい」「雇用したい」を応援する

- 労働者を増やす
- 様々な働き方を応援する
- 障がい者の自立を応援
- 発達障がい者の自立を支援
- 「ひきこもり」の状況にある人の就労支援
- 若者の地元就職を推進



重要業績評価指標 (KPI)

現況 → H 32

- 市内事業所の従業者数 23,392 人 → 25,000 人
- 総社市・高梁市連携事業
合同就職面接会参加者 — → 250 人

2 農林業 総社の農業を元気にする

- 地食べ事業を核とした儲かる農業の推進
- 優良農地の確保



重要業績評価指標 (KPI)

現況 → H 32

- 地食べ事業による市内産米の消費量拡大 — → 累計5,000俵
- 営農組合の新たな組織化・法人化 — → 3組織
- 学校給食における総社産野菜の利用率 36.9% → 40%
- 荒廃農地の面積 63.8ha → 維持

3 商工業・物流 総社の企業・起業を応援する

- 市内企業・事業所との連携
- 拠点整備を支援する



重要業績評価指標 (KPI)

現況 → H 32

- 従業員数 50 名以上の企業を 5 年以内に 3 社誘致する
- 市内事業所数 2,052 事業所 → 2,100 事業所以上



だれもが学びたくなる総社



基本 目標

年少人口（0～14歳）数：9,823人（H27）

→ **10,000人超**（H32年度）

重点的な施策

① 学校・幼児教育 だれもが行きたくなる学校をつくる

- 「心」を重視した教育
- だれもが行きたくなる学校づくり
- 特別な支援が必要な子どもたちを支援
- 特色ある学校づくり
- 世界へはばたく特区教育を



重要業績評価指標（KPI）

現況 → H32

- 地域の特徴やニーズにあった特区の新設 1区 …… → 3区
- 不登校出現率（不登校の子ども割合）
小学校0.43%、中学校1.97% → 小学校0.3%以下、中学校1.7%以下
- 昭和地区等英語教育特区への地区外から
通園通学する児童生徒数（幼小中）47人 …… → 70人

② 家庭教育 家庭や地域の学びを応援する

- 家庭教育
- 学習を応援

重要業績評価指標（KPI）

現況 → H32

- 高校進学を希望する
ワンステップ受講者の進学率 — …… → 100%
- 学校運営協議会の設置数 — …… → 7校以上



③ スポーツ・文化・生涯学習 総社で生涯学び、スポーツをする

- スポーツを楽しむ
- 貴重な文化財を守り、文化芸術を身近に
- 生涯学ぶ



重要業績評価指標（KPI）

現況 → H32

- 体育施設の利用者数（延べ） 520,000人 …… → 600,000人
- 吉備路文化館の来場者数（延べ） 8,800人 …… → 10,000人



だれもが訪れたいくなる総社

基本 目標

滞在人口：平日 117,000 人，休日 112,600 人 (H 27)

➔ 平日 120,000 人，休日 116,000 人 (H32年度)



重点的な施策

1 観光 総社の魅力を発信する

- 全国屈指のマラソン大会
- 観光用の2次交通整備
- さらなる観光客・訪問客の増加



3 自然・環境 美しい総社を未来へ繋げる

- 「赤米」を日本遺産登録へ
- 豊かな自然を大切にする



重要業績評価指標 (KPI)

現況 ➔ H 32

- 観光客数 80 万人 ➔ 100 万人
- そうじゃ吉備路マラソン参加者の大会運営評価満足度 70.5 点 ➔ 80 点

2 都市・社会基盤 総社の景色を変える

- 岡山県立大学周辺を東の玄関口に
- 主体的な土地利用の促進



重要業績評価指標 (KPI)

現況 ➔ H 32

- 宅地面積 1,475ha ➔ 1,505ha
- 県立大学生の総社市居住率 45% ➔ 55%

重要業績評価指標 (KPI)

現況 ➔ H 32

- 日本遺産登録件数 0 件 ➔ 1 件以上
- 環境教育・学習参加者数 (延べ) 214 人 ➔ 320 人



だれもが集いたくなる総社



基本 目標

総社市に愛着を感じている人の割合（アンケート）：75.2%（H27）
 → **85%**（H32年度）

重点的な施策

① 市民参加 市民と共に総社を創る

- 地域課題を解決し、独自性ある地域を創る
- 女性が活躍する
- 外国人と共生する
- みんなで考え取り組む



重要業績評価指標（KPI）

現況 → H32

- 市民提案型事業への応募件数 9件 → 15件
- 多文化共生イベントへの来場者数 1,300人 → 2,000人
- 小児医療費決算額 2億5,232万円 → 2億5,000万円未満
- ごみ減量化推進団体資源回収量 1,509t → 1,800t

② 広域連携 岡山・倉敷等と連動する

- 広域で連携する
- 大学との連携
- 地元金融機関との連携



重要業績評価指標（KPI）

現況 → H32

- 市役所での大学生インターンシップ
受け入れ人数 31人 → 60人
- 総社市・高梁市連携事業
バスツアー参加者 40人/年 → 60人/年

③ 市役所 市役所を改革する

- 行財政改革
- ファシリティマネジメントの実施
- 職員の意識改革



重要業績評価指標（KPI）

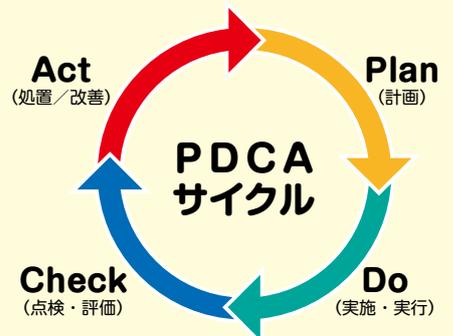
現況 → H32

- 個人番号カードの普及（累計） — → 70%（5年累計）
- 市債の借入額 5年間平均（当初予算）で元金償還額の95%以下に抑制

評価・検証

基本目標と重要業績評価指標（KPI）の達成状況を適切に把握し、政策の効果を検証し、毎年、必要な見直しと改善を図り、翌年度への事業実施に生かしていくPDCAサイクルを確立します。

市役所において事業の評価、検証を行い、進捗状況の確認においては、満足度調査など市民アンケート等も活用します。さらに総合計画審議会や市議会において進捗状況等の報告を行い、必要があれば基本計画の見直しを行います。



総社市 政策調整課

TEL0866-92-8213 FAX0866-92-8216

発行／平成28年3月



再生紙を使用しています